

令和5年度 高野口こども祭り 報告

去る11月11日応其小学校の体育館で開催しました「令和5年度高野口こども祭り」におきまして、園・学校の児童生徒・保護者・教職員、高野口町健全育成会を始めとした各種教育団体及び地域住民の方々が90名参加いただき、実りの多い集会となりましたことに感謝申し上げます。

昨年度まで長きにわたり行われてきた「高野口町教育講演会」に変わり、子どもが主役の「高野口こども祭り」の第一回目が開催されました。国では今年4月に「こどもまんなか社会」を目指して「こども家庭庁」が発足し、橋本市でも一昨年からの子どもの主張を市に提案する「未来プロジェクト」が行われてきており、来年度「こども祭り」を検討しています。高野口町健全育成会は「高野口の子どもは高野口で育てる」をモットーにしてきましたが、「高野口を支える主体は子ども」という理念の元、今年度「子どもの夢実現につながる高野口の活性化」をテーマに「こども祭り」を実施することになりました。

【こども祭り内容】

「こども祭り」は2部構成で行われ、一部はオープニングとしてきのかわ支援学校の和太鼓演奏、高野口中学校の吹奏楽部演奏があり、素晴らしい演奏で会場が一つになったような気がします。二部はパネルディスカッションが行われ、児童・生徒代表、保護者代表、教員代表、地域住民代表がパネリストになり、「自己紹介」から始まり、「学校・家庭・地域での子どもの様子」をそれぞれの立場から発表してもらい、最後に「子どもと大人が手を取り合って、住みやすい高野口にするために」どうすればよいかを提案してもらいました。

子どもたちは塾や習い事、クラブ活動などで毎日忙しそうである一方、家ではゲームやYouTubeなどに熱中していて横のつながりが希薄になっている様子が伺えました。また、高野口をよりよくしていくための提案として、「子どもの遊び場を増やす」「他校の子どもとも交流できる場を設ける」「ゲームを通して親子の対話を深める」「自分の子どもだけでなく地域の子どものもにかかわる」「子ども達の声を聞く」などの意見が出された。パネリストの子どもたちは会場からの質問を受けてしっかりと自分の意見を述べていました。遊びのイメージについて聞かれると「子どもが楽しいと感じたら遊び」と即答したり、無農薬をされている農家の方から草引きボランティアを求められたら「自分のできる範囲でお役に立ちたい」や「職場体験に農業体験を入れたらよい」などの積極的な意見を言う子どもまで現れ頼もしく思いました。

《感想文》

- ・子どもさん達が立派に意見を言っていたのが素晴らしいと思いました。
- ・子供たちの意見、発言が素晴らしかった。もう少し時間があればよかったです。
- ・とても緊張したけど、いろいろ他の人の意見が聞けて楽しかった。
- ・大人の意見が多く、子どもの意見をもう少し聞いてみたかった。
- ・子どもたちとともに未来について考える場を持つことはとても大切なことだと思います。
- ・子どもたちの意見等を聞く機会となりました。今後地域としてできることを考えていきたいと思っています。
- ・オンラインでも会場でも、参加者がより集まりやすい方法で続けてください。

- ・ こういう企画が取り組まれるのは「高野口の力」があるからこそである。すごいことです。
- ・ 子どもたちの課題に地域がどう応えるか、何ができるかについて、今後具体的に話を進めていくことが大切であると思います。

